

細川貂々×青山ゆみこ

トークイベント

『フツウ』じゃなくても、『元気』じゃなくても悪くない

令和6年（2024年）8月25日（日） 14時～15時30分 宝塚市立中央図書館



『凸凹あるかな?わたし、発達障害と生きてきました』

細川 貂々／著 平凡社 2023年



『元気じゃないけど、悪くない』

青山 ゆみこ／著 ミシマ社 2024年

「生きづらさ」を体験したお二人が、「フツウ」じゃなくても、「元気」じゃなくても、もしかしたら「悪くない」生き方があるのではないだろうか。当事者の感じていることから話しいたします。質問にもお答えしますので、お二人に聞きたいことがある方は申し込み時にお寄せください。

会場：宝塚市立中央図書館 2階 集会室

（阪急宝塚線 清荒神駅前）

定員：70名（応募者多数の場合は抽選）

申込：令和6年7月22日（月）10時～8月5日（月）18時

宝塚市立図書館HP、中央図書館窓口、電話にて

WEB申込はこちら→

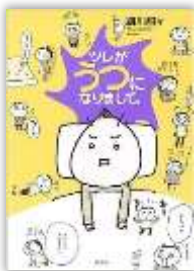
お問い合わせ：宝塚市立中央図書館 電話0797-84-6121



講師紹介

●細川貂々（ほそかわ・てんてん）さん

1969年、埼玉県生まれ。漫画家・イラストレーター。セツ・モードセミナー卒業。パートナーのうつ病を描いた『ツレがうつになりまして。』（幻冬舎）がテレビドラマ化、映画化される。水島広子医師との共著「それでいい。」シリーズ（創元社）もベストセラーに。近刊に、自身の発達障害を描いた『凸凹あるかな？わたし、発達障害と生きてきました』（平凡社）、児童書に『がっこうのてんこちゃん』（福音館書店）、『こころってなんだろう』（講談社）などがある。現在、兵庫県宝塚市で、生きづらさを抱えた人たちが集う「生きるのヘタ会？」「凸凹ある会？」を主宰。



●青山ゆみこ（あおやま ゆみこ）さん

神戸在住。編集・ライター。神戸松蔭女子学院大学非常勤講師。著書にホスピスの「食のケア」取材した『人生最後のご馳走』（幻冬舎文庫）、個人の困りごとから社会問題を捉えたエッセイ『ほんのちょっと当事者』（ミシマ社）。共著に『あんぱん ジャムパン クリームパン 女三人モヤモヤ日記』（亜紀書房）などがある。2024年3月「心と身体」の変化をめぐるノンフィクションであり、ケアの実践書『元気じゃないけど、悪くない』（ミシマ社）発行。それ以降、本書をベースにしつつ、本を超えたところでお互いの体験を聞き合う「ゲンナイ会」を主宰。

